

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年4月30日	2008年4月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	邦人対象の治安情報 テロなどの一般治安情報 今月の出来事 その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

トラムウェイや電車との接触事故が報告されている。また少し手の込んだ手口のカージャッキングの被害も見られるので車を離れる際にはエンジンを切ってキーを抜くことを忘れないこと。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年4月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣										3	2						5
置き引き																	0
引ったくり	1			1			2			2							6
万引き										1							1
強盗			1					1		2	1	1				1	7
窃盗(車・自転車)										1	1						2
カージャック												1					1
車内盗難																	0
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑						1				1							2
脅し・暴力行為	1	2	1	1	1	1	2	2		9	1	1	7				29
詐欺(カードなど)			1		1			1	1	2	1		2				9
拉致・誘拐																	0
破損・放火										2			1				3
ストーカー																	0
麻薬取引・所持								1		1			2		1		5
飲酒/無免許運転					1					4					1		6
その他										1	1	1			2		5
合計	2	2	3	2	3	2	4	5	1	29	7	4	12	4	1	0	81

備考欄: リヨン東 Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
リヨン西 Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
リヨン南 Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
リヨン北 Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C,多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

トラムウェイ、電車との接触事故

電車やトラムウェイを利用する機会も多いと思うが、今月も事故が報告されている。

- 4月1日午後、SNCFウーラン駅の踏み切りで40歳台の女性が降りていた遮断機をくぐって線路を横切ろうとしたところ、駅を通過した電車にはねられて死亡した。(プログレ紙4月2日付)
- 4月1日午前9時40分ごろ、リヨン7区で42歳の女性がトラムウェイT2番線と接触。女性はただちに病院に運ばれたが命に別状は無い。この影響で同線は1時間あまり不通となった。(プログレ紙4月2日付)

電車を利用の際には、接遮断機が下りていたり警報が鳴っている場合には接近してくる電車が見えなくても線路内に立ち入ることは避けること。また、トラムウェイの走っている道路では、普段より一層交通に注意すること。

郵便ポストに入れてあった鍵での空き巣

4月3日、ヴィルクバンヌ市で元荷物配達人が全ての郵便箱を開けることができる鍵(郵便局員や建物の管理者などが所持している)を使って住居ビルの郵便箱を物色。その際に入手した鍵を使ってアパートの一室に侵入し宝石などを盗もうとした。帰宅した住人に目撃されたため、逃走をはかったが取り押さえられた。(プログレ紙4月9日付)

郵便ポストなどに簡単に鍵などをに入れておかないこと。簡単に盗まれる可能性が高く、それを使って空き巣の被害にあう危険性も高い。

カージャッキング

- 4月3日午後9時ごろ、エキュリー市でフォルクスワーゲン・ゴルフを駐車した男性が車から出た途端に鉄のパイプを持った二人組に襲われた。犯人らは催涙ガスと鉄パイプで被害者に襲いかかり車の鍵を奪おうとしたが、被害者は鍵を遠くに投げ捨てて抵抗。あきらめた犯人らはノート型パソコンを奪って逃走した。(プログレ紙4月5日付)
- 4月16日午前5時50分ごろ、シャシュー市にて60歳台の男性が自宅前の道をでたところ、無造作においてあるゴミ箱に進路を塞がれた。男性がゴミ箱を脇に寄せようと車を降りたところ、武装した男に脅され、乗っていた4輪駆動の乗用車を奪われた。(プログレ紙4月18日付)

車を奪う手口も凶暴、複雑化している。短時間でも車から離れる際には必ずエンジンを切ってキーを抜くこと。また路上に駐車する場合には、出来るだけ人気の少ない場所を避け、周りの状況に十分に注意すること。

「水を一杯ください」で詐欺

4月15日朝、リヨン5区で78歳の女性が詐欺にあった。52歳の男が被害者のアパートのドアを叩いて水を一杯くださいと頼んだため、女性が台所に水を取りに行っている間にアパート内を物色し現金300ユーロを盗んだ。その後犯人は逮捕された。(プログレ紙4月19日付)

以前から流行している詐欺事件であるが、相変わらずの被害が出ている。見知らぬ人物の訪問にはドアを開けないなどの対応が必要である。

現金自動引き出し機でカードをすりかえての詐欺

4月はじめ、エキュリーのタバコ屋の主人が、2週間前にタバコ10カートンを女性の名前のカルトブルーを使って購入した男が、再び女性の名前のカルトブルーで10カートン購入しようとしているのを不審に思い憲兵隊に連絡。駆けつけた憲兵隊の調べにより、このカルトブルーは同じ日の午前中にリヨン3区の現金自動引き出し機ですりかえられたものと判明した。犯人は被害者が現金を引き出している最中に注意をそらせてカードをすりかえたという。(プログレ紙4月1日付)

現金自動引き出し機や商店での買い物でカードを使用の際には決してカードから目を離さないことが大切である。

マットレス販売の詐欺事件

以前にも紹介したが、マット販売に関する詐欺事件が報告されている。

4月23日午前10時30分ごろ、リヨン8区で87歳の女性が以前にベットのマットレスを購入したことのあ
る販売員の訪問を受けた。この販売員は今度は防ダニマットレス保護シートの購入をすすめ、以前に売
たマットレスの状態を確認するという口実で被害者の寝室に入った。そしてマットが破れているので取り替え
る必要があると被害者を説得し、新しいマットレスを2200ユーロという価格で売りつけた。警察では悪質な
詐欺事件として犯人探しの捜査を開始した。(プログレ紙4月25日付)

見知らぬ他人の訪問には対応しないほうが賢明である。万が一、訪問販売で商品を購入した後におかし
いと思ったら警察に通報すること。また、訪問販売には「クリーニングオフ」制度というものが適用される。(7
日間以内なら契約を破棄できる)

2.テロなどに関する一般治安情報

今月は特に事件は報告されていない。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

メジュー(Meyzieu)市の中学校で15歳の生徒が他の生徒3人を刺す

4月28日午前9時半ごろ、メジュー市の中学校で15歳の生徒が授業中にいきなり他の生徒3人を持
っていた刃物で刺すという事件が起きた。被害者は14から15歳の同中学校の生徒で二人は首、のど、
足などを刺され重症だが、命には別状無し。もう一人は肺や頸椎を刺され重体となっている。調べによると
事件を起こした生徒は今までに問題などを起こしたことは無かったが、以前から仲間のひやかしなどに悩ん
でいたとされ、家宅捜査の行われた自宅からは同中学校生徒で被害者をいじめていたと見られる名前を挙
げたリストが見つかった。犯人の生徒は3人に襲い掛かった後に学校から逃走。自殺を図ったが学校付近
を歩いているところを警察に見つかった。(プログレ紙4月29日付)

フルビエールのトンネルで大型トラック取締り

2月15日より、周辺41市町村の運送会社に所属するトラックを除いて7.5トン以上のトラックのフルビエ
ールトンネル通行が禁止となったが、以降も違反してトンネルを利用する大型トラックが後を絶たないこと
を受けて、4月はじめダルディエールのトンネル出口付近で一斉取締りが行われた。この日だけで34台のトラ
ックが取り調べを受け、9台が通行禁止違反、15台がその他の違反で罰金刑となった。警察では同様の取
締りを今後も数多く行うと予定。(プログレ紙4月3日付)

「チベットに自由を」とデモがリヨンでも

パリで行われた北京オリンピックの聖火リレーの際の反対運動が注目されたが、4月7日午後、リヨンでも約
400人がチベット独立のためにデモ行進を行った。(プログレ紙4月8日付)

リヨン・マラソン

恒例のリヨン・マラソンが4月27日晴天の中開催された。約7500人が参加したこのマラソンにより、リヨン中
心部の交通は多少の乱れが見られた。また参加者一名が心臓麻痺で死亡した。(プログレ紙4月28日
付)

リヨンの地下鉄30周年を迎える

1978年4月28日に開通したリヨンの地下鉄が30周年を迎えた。現在リヨン地下鉄網は一日に約70
万人の利用客を記録している。(プログレ紙4月28日付)

5.その他の情報

小学校で暴力を振るう生徒のために学校がストに

ヴェニシュー市でCM2(フランスの小学校5年生)の生徒が校長に対して暴行を振るったことを受けて、4月
7日に同市のMAX-BAREL校の教職員がストライキを行った。(プログレ紙4月8日付)

上に挙げたメジュー市の中学校の事件にも見られるように、近年教育機関内における暴力事件が増加して社会問題となっている

麻薬取引、所持の検挙

4月7日、リヨン8区に大量の麻薬を配達先に届けようとした25歳の男が警察に逮捕された。公式には無職で在るにも関わらず、贅沢な暮らしをしているこの男を不審に思った警察が以前から男の行動を追跡していたところ、今回の逮捕につながった。男の持っていたスポーツバックからは3キログラムのヘロインが発見された。さらに男が出てきたアパート内部を調べたところ、さらに3キログラムのヘロイン、1.5キログラムのコカインと3000ユーロの現金が発見された。(プログレ紙4月15日付)

この他にも最近大規模の麻薬取引、所持が検挙されており、ローヌ=アルプ地方はヨーロッパ麻薬取引の中心地となっている。

道路交通法違反の取締り、安全ベルトの不使用が多くみられる

4月19日、20日の週末にかけて、アン県のSaint-Sorlin en Bugey付近で憲兵隊が道路交通法違反の取締りを行った。その結果、飲酒運転が1件、車両優先違反が17件、危険なまたは禁止された追越しが4件、運転中の携帯電話使用が21件、そして驚くことに17件の安全ベルト未着用が挙げられた。(プログレ紙4月22日付)

特に安全ベルトの着用は後部座席でも義務付けられていることを忘れないこと。

ガソリンスタンドなどで料金未払いでの逃走が急増

ガソリンの価格高騰が続く中、ガソリンスタンドなどで給油した後に料金を支払うことなく逃走するという事件が急増している。

また、アン県では運送会社の車庫に駐車中の大型トラックのガソリンタンクから夜中にガソリンを抜き取り、約200リットルのガソリンを自宅のガレージに隠していた20歳台の男2名が逮捕された。(プログレ紙4月24日付)

テットドール公園での迷子

気候が良くなるにつれて、リヨン市民は公園などに出かける機会も増えてくるが、テットドール公園でも迷子が急増し関係当局は注意を呼びかけている。特に動物園付近での迷子が多く、保護者が一瞬目を放した際に迷子になるケースが多く、天気の良い週末には約30人の迷子があるという。99パーセントまでは、保護者が気付いてから5分以内に見つかるというが、ペドフィリーや誘拐の被害にあう可能性もあるために、一瞬たりとも子供から目を離さないように注意を呼びかけている。(プログレ紙4月25日付)